

# 愛宕神社古墳(川越市)

正面が愛宕神社





社殿は円墳の頂部に建っている













# 愛宕神社古墳

(市指定・史跡)

仙波台地の東南端上に築かれたもので、かつてこの付近一帯には六つ塚稻荷の名称から考えても多くの古墳群が存在していたことがうかがえる。高さ六メートル、東西三十メートル、南北五十三メートルを有し、基壇のある二段築成の円墳で、幅約六メートルの周溝が東南の斜面を除いて巡っている。六世紀中葉期のものであると思われる。現在は愛宕神社が祀られている。

昭和六十三年三月

川越市教育委員会





句碑が立つ





松尾芭蕉の句碑



松尾芭蕉 句碑

ばしろう  
はせお

名月に麓の

めいげつ ふもと

霧や田の曇

きり

た

くもり

元禄七年（一六九四年）八月十五日  
芭蕉が伊賀国上野赤坂（今の三重県）  
で月見した時の作品といわれている。

伊賀の赤坂も川越の仙波も、ともに  
台地の突端で眺望が良いところから  
選句されたといわれている。

ここ川越の仙波地域は江戸後期から  
俳句が盛んで、愛好する人たちが  
安政四年（一八五七年）に建てたもの  
である。

芭蕉は、この句を詠んだ日から  
二ヶ月に満たない十月十二日に亡く  
なってしまうといわれている。







拝殿













後方は本殿





























左手に行くと延命地藏尊があるという





基壇のある円墳









延命地藏尊





えんめい じぞうそん

## 延命地藏尊

この延命地藏尊は、今から約二百七十年前の元文元年（一七三六年）に祀られました。

延命地藏尊は、延命、利生を請願する地藏菩薩であります。

新しく生まれた子を護り、短命、夭折（若死）の難を免かせるという。

お姿は、左足を垂下する半跏像が多いといわれていますが、ここの延命地藏尊も半跏像であります。

片足を他の足の腿の上に組んで座っております。

歴史を訪ね、先人の信仰の篤かったことを偲びながら拝観するのも意義あることでしょう。



古墳の周りを反時計回りに廻ってみる











愛宕神社  
・防火の神 鎮火の神  
元祿祭 1月 5日  
大祭 7月24日















周溝が巡っているという





参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/kawagoe/atago.htm>

[http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/19\\_kwge/kosenba1.html](http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/19_kwge/kosenba1.html)

[http://5.pro.tok2.com/~tetsuyosie/saitama/kawagoesi/atago\\_fujimi/atago.html](http://5.pro.tok2.com/~tetsuyosie/saitama/kawagoesi/atago_fujimi/atago.html)

<http://www.kawagoe-yell.com/sightseeing/senba-atago/>

